

働いてよし&暮らしてよし むらやまの企業

ミドリオートレザー株式会社

山形市にあるミドリオートレザー株式会社の東海林翔太さん取材しました！
東海林さんは、山形大学人文学部を卒業した後、2020年に入社しました。
現在は、技術部技術開発室で勤務しています。

(1) 仕事内容編

——現在の仕事内容について教えてください。

ミドリオートレザーの主な製品は、自動車に搭載するシートに使われる本革です。自動車向けの製品を量産するにあたって、色や模様といった見た目に関するものから、素材としての性能まで、お客様である自動車メーカーからいろいろな要望があります。量産の前段階として試作を行う必要があるのですが、私はその試作業務を主に担当しています。



——試作業務ではどのようなことをするのですか？



本革を作るにあたっては、大きく3段階に工程が分かれています。まずウェットブルーと呼ばれる牛革を塗装する前の状態までもっていく下敷きという段階、そこから塗装とシボ模様を付ける仕上げの段階、さらに飾りや穴あけなどをする裁断の段階があります。私が担当しているのは、真ん中の仕上げ塗装の部分です。



シボ模様

——**大学は文系の出身ですが、試作業務は大変ではありませんか？**

そうですね。意外だと思いますが、業務にあたって理系的な知識はそこまで必要ではありませんでした。もちろん実際に製品を作るので、それなりに専門的知識を使いますので、そういうところは先輩や上司に聞きながら勉強しているところです。

——**いろいろな質問をしやすい雰囲気なのですか？**

困っているとすぐに教えてくれるようなアットホームな職場です。質問するとしっかり答えてもらえますが、こちらの聞き方によっては必要な情報が得られないこともやっぱりあります。自分が何で困っていて、何を聞きたいのかということを明確にしておかないと、困っていることが解決できなくなることがありますので、気をつけています。

——**業務を進めるうえで、他にも気を付けていることはありますか？**

働き始めて意識するようになったことですが、お客様から依頼を受けて、その依頼された製品を作って、お客様に製品を届けるところまでが一つの流れになっています。ですから「納期」、つまり期日までに必ずその製品を届けますという約束をお客様とするのですが、その納期を必ず遵守しなければなりません。納期を守れない場合、いろいろなところに迷惑をかけてしまうので、必ず守るように気を付けています。

——**納期を守るために何か工夫していることはありますか？**

最初は、一つの依頼に対して頭の中で考えておこうというくらいで、スケジュール管理が結構あいまいでした。それだとやはりよくないと思い、先輩にいろいろ相談してエクセルで1～2週間のスケジュールをまとめて表にして、日々管理しています。



——ミドリオートレザーに入社して良かったと感じることはありますか？

明確なやりがいがあることですね。やっぱりモノを作るので、作った成果が実際に手元にありますし、お店に行けば自分の関わったモノを見られるんですよ。日々、街を走っている車が気にかかるようになりましたし、車のショールームにいくとシートに目がいてしまいます（笑）。それが日々のモチベーションになります。



——逆に、仕事で大変なことはありますか？

まず、仕上げ業務に関しては、決められた手順と方法をただ守るだけだと、いろいろな不良が発生してしまうことがあります。それを直したり、そうならないためにいろいろ段取りをしたりしなければならないので、そこは大変です。

(2) 職場編

——ミドリオートレザーで働きたいと思ったきっかけは何ですか？

私は大学で統計学を学んでいたのですが、大学3年で就活を始めたときには、金融機関とかいわゆる文系がよくいく職種を考えていました。ですが途中で、「本当にこのままでいいのか」と思って就職支援室に行って相談すると、製造業もあることを教えてくれたんです。企業紹介冊子やパンフレットを見て、ミドリオートレザーという企業が山形にあるのを知り、興味を持って採用試験を受けたという経緯があります。

——山形に製造業はたくさんありますが、ミドリオートレザーにした決め手は何ですか？

革に対するイメージを変えてくれたことがあります。日常的に触れる革はバッグや財布が多いので、革製品は職人が一人ひとり手作業で作っているイメージがありました。ミドリオートレザーの製造現場を見て、大きな機械を使って大量に生産していることに衝撃を受けましたし、しかも日本で一番の製造規模でやっているというスケールの大きさに惹かれました。



「ここだったら面白い仕事、やりがいのある仕事ができるんじゃないか」という感覚があって、それで決めました。

——ミドリオートレザーに就職するときに、最初から技術や製造の仕事に携わりたいと考えていたのですか？

最初に希望職種を届けるときに「営業職」と書いたんですが、実は営業職は東京本部での採用であって、山形本社工場での採用は製造職・技術職がメインだと後から知ったんです。山形でも総務や経理関係の仕事を選べたのですが、自分は銀行や公務員といった職から離れたところの仕事をしてみたいと思ってミドリオートレザーに来たので、技術と製造の仕事を目指しました。

——それまで知らなかった世界に入るにあたって不安は感じませんでしたか？

最初は不安だらけでした。工場を見学させてもらったのですが、見たこともない大きな機械が動いていますし、製造ラインで働く方々はとても忙しくしていましたので、圧倒されてしまいましたね。

——大学で統計学を学んだことが、活かしていることはありますか？

製品の品質に関する部分で、データを取って分析することが要求される項目が多々あります。そこで統計学で学んだことは活かせるのではないかと思います。

——就職前に勉強しておいたほうがよかったと思うことはありますか？

先ほど理系の知識はそれほど必要ないといいましたが、当然必要な知識はありますし、学ばなければいけないこともあります。ただ、就職が内定してから卒業するまでの間に自分で新しく学べることはそれほどないので、自分が今まで学んできたことを復習したり、それを今後会社でどう活かしていくのか考えたほうが良いと思いました。

——入社した頃はコロナ禍が始まっていたと思いますが、何か影響があったことはありますか？

新入社員の歓迎会といった集まりは当然自粛される時期でしたし、社内でそういうコミュニケーションをとる機会はなかなかなかったです。ですが、業務の時間の中でコミュニケーションはとれていたもので、すぐ名前も覚えていただいて目をかけてもらえたので、ありがたかったですね。



(3) ある日の過ごし方編

●8:10 【出社】

制服に着替え、全員でラジオ体操をします。

●8:40 【打ち合わせ】

お客様からの新しい依頼の確認、取り組んでいる仕事の進捗状況の報告や相談、その他連絡事項などを共有します。



●10:10 【試作業務の開始】

事前に組んであるスケジュールに従って、試作品を作成していきます。量産ラインの機械の使用許可など段取りが重要です。



●12:00 【お昼休憩】

社員食堂で、同僚と一緒に食べます。定食、丼もの、麺類などいろいろな選択肢があります。

●13:00 【試作品の検査、確認】

現在取り組んでいる試作品について、お客様へ出荷してよいかどうか品質のチェックをします。上長にみてもらい承認をもらうときが一番緊張します。



●15:10 【試作業務の再開】

午前中の続きです。業務終了の時間を考慮しながら進めていきます。

●16:45 【本日の業務確認】

予定と実際の進捗状況を照らし合わせて明日のスケジュールを調整していきます。また上長や先輩への報告、相談も忘れずに行います。

●17:15 【退勤】

退勤後は自炊や、趣味のバスケットボール観戦をしたりしています。1試合3時間の録画を通して見る時間があって嬉しいです。

(4) むらやまでの暮らし編

——山形での就職の良さはどこにあると思いますか？

明確にこうだとは言えませんが、東京や仙台に行ったときに、「ここで暮らしていけるかな」と考えることがありました。そこで思ったのは、都会だと人が多くて、暮らしていくにはストレスを感じそうだということでした。山形のように静かなところがいいと思いました。

——退勤後はどんな感じで過ごしているのですか？

趣味でバスケットボールをしていることもあって、アメリカのプロバスケットボールを見るのも好きなのですが、退勤後にご飯をゆっくり食べながらその日の試合の録画を見ながら過ごしています。

あとは、労働組合から近辺の温泉で使える割引券がもらえるので、金曜日の仕事終わりにそのまま車で行くこともあります。北山形駅近くの「芭蕉の湯」とか、寒河江の「ゆ〜チェリー」によく行きますね。



——村山地域で暮らしてよかったことはありますか。



まず、食べ物がおいしいところですね。山形は麺で有名ですが、例にもれず私もラーメン好きです。山形市にある「らー麺山之助」の味噌ラーメンと、「麺辰」の特製鶏中華がすごく美味しいです。あとは山形駅前の通りにある「おしょうしな」は山形名物が季節ごとに出て美味しいですよ。

あと気に入っている場所は、西蔵王公園です。もちろん公園としてもすごくいい施設ですが、そこに行く途中の駐車場に車を停めて山形市街地のほうを眺めると、すごく綺麗な景色が見えていいですね。

(5) まとめ編

——今後の目標として、こういう仕事に携わってみたいなどありますか？

先ほどお話ししたように、今は仕上げを担当していますが、「革製品を作る」というのは、下地、加工のところも合わせて成り立ちます。今後は、他の工程も学んでいきたいと思います。



——今後就職活動を行う学生へのメッセージをお願いします。



「この学部ならこういう仕事、こういう業界」という既定路線のような雰囲気を就職活動中に感じましたが、いったんそういうことを忘れて他の分野を見てみると、視野が広がって本当に自分のやりたいことが、もしかしたら見えてくるかもしれません。決め打ちをしないで、いろいろなところを見てほしいと思います。

——ありがとうございました！

文系出身者が製造業で、しかも技術職で働くというイメージがあまりありませんでしたが、東海林さんの話を聞いて、自分の考え次第でいろいろな可能性が広がっていることがわかりました。また、工場見学でその規模の大きさに圧倒されました。皮がどのように革製品に変わっていくのかを知る貴重な経験でした。

【インタビュアー：

山形大学人文社会科学部 金東均 久山拓真 草木啓汰】



ミドリオートレザー株式会社

★日本トップシェアのカーシート用皮革メーカー！グローバル展開拡大中です！

限りある資源の有効活用、環境に優しく人の暮らしを豊かにするものだけを作ることをテーマとしています。

皮という天然素材を、革という製品へ変えること。求められる品質の期待を超えつづけること。そして、革の可能性を信じ、新たな製品を生み出していくことが私たちミドリオートレザーの仕事です。

★子育てサポート企業（くるみん）、やまがた子育て・介護応援いきいき企業優秀企業（ダイヤモンド）

- ・所在地 山形県山形市三社 57-1
- ・設立 昭和 21 年 3 月
- ・従業員数 436 名（男性 294 名、女性 142 名）
- ・URL <https://www.midori-alg.com>

